

場所 系教東北方三〇〇米地點
時間 一四〇〇時 一六〇〇

發射彈數 五〇發

四 石兵團配屬球第一四二七〇部隊（在真和志國民學校）ニチズニ
性疾患患者多發シ二十三日迄三十名ノ患者發生シ他疑患者
二十名アリ本島ニ於ケルチフスハ一般ニ内地等ニ發生セルモノ異リ
十二月頃多發ハ傾向アル由ニ付各隊ハ一層防疫軍紀ノ振作シ
病毒輸入ノ防止ニ嚴シク留意セラレ度
五 兩今貴彈射撃ヲモ實施スル場合ハ遲クモ七日前迄ニ師團計
令部ニ記要領ニ基キ報告スル如ク規定セラレタルヲ以テ當部ニ
計畫ヲ實施シ方リテ今日前ニ本要領ニ依リ本部ニ報告
コト

一日 目的
二日 時間
三日 場所
四 使用兵器ノ種類
（要スレバ要圖添付）
（彈種及彈數）

左記

上月九日 陣地構築

大原前日ハ引續キ築成作業ヲ實施ス

清報

一 海軍電深ニ據リテ別紙石十五清第五三號ノ如シ
敵機ニ関シテ別紙石十五清第五四號ノ如シ

命令

一 遙拜式典ニ関シ別紙石九六日命第一六八號ヲ下達ス

會報

一 別紙石九六會第一〇九號ヲ下達ス

査閱

一 石九六日命第一六八號ニ基キ八三〇日現地初年兵査
閱ヲ査閱計画ニ基キ實施シ一七五〇日終了ス
講評別冊ノ如シ

勤勞六本、勤勞員

日直時技

石川准尉

巡察時技

川地少尉

日直下官

馬場伍長

内務衛兵

淺尾隊

封鎖監視哨

伊藤隊

封鎖監視哨

松島隊

日直下官

伊藤、曾長

現員七本、現員

人員

飯塚少佐以下八名

馬匹

日馬

四

石十五情第...三號

情報

十二月二十九日 〇二〇八

一、二、三、八、讀谷基照三、一度、一四〇、料、方向、ニ、票、
ヲ、反、射、大、ナ、リ、機、動、部、隊、近、接、ノ、模、様、ナ、リ、ト

二、各、隊、ハ、監、視、ヲ、嚴、ニ、セ、ラ、レ、度

石運報第四號ニ據ル

軍事極秘

石十五情第五四號
情報

十月二十九日一七〇〇

一十月二十九日ニ三ニ。敵機(機種不明一機)伊井島西方ヨリ
侵入沖繩本島ヲ横断シ。〇ニ三南方ニ脱去セリト
ニ右ハ在支米空軍マリアナ那那島方面ニ連絡セルモノ
ナラズヤト判断セラル

石第三五九六部隊日々命令

五城野路駐校

一 來ル一月一日昭和二十年元旦ヲ迎ケルニテ八時三十分ヨリ國民學校々庭ニ於テ新年是拜式ヲ舉行ス

依テ左ノ通り心得ラベシ

各隊(配屬隊ヲ含メ)ハ八時三十分迄ニ集合ヲ完了スベシ

又 集合隊形ハ南面ニ中隊ハ縱隊トシ右ヨリ本部 通信 作業

ハ左ヨリ附屬隊トシ初年兵教育隊 橋本隊 外山隊ノ順序トス

隊間六歩トス

中隊ハ二テ小隊編成トシ銃砲中隊ハ小銃編成トス

服装ハ儀式ノ場合ノ軍装トシ略綬ヲ佩用スベシ

部隊指揮官ハ三輪大尉トス

式順ハ如シ

イ 集 合

ロ 宮城遙拜

ハ 國歌合唱

ニ 部隊長訓示

ホ 海行カバ唱和

各隊ハ喇叭手全員整列時部隊中央後ニ差出スモトス

ハ 聖壽萬歳 三唱
ト 解 散

送拜式終了後視堂爲准士官下士官、十一時迄會議室集合

一月十日時分無位下士官(見習士官含む)參賀式ヲ執行スルニツキ該當者ハ執行五分前迄本部事務室前ニ集合スベシ

一月十日勅諭下賜六十三周年ニ方リ勅諭奉讀式ヲ十時ヨリ國民學校

本部通信作業 初年兵教育隊 順序ニ九時五十分迄整列ヲ

本部隊指揮官ハ三輪大尉トス

又服装ハ儀式ノ場合ノ軍装トシ略綬ヲ佩用スベシ

各中隊本部ニ準シ勅諭奉讀式ヲ施行スルモノトス

陸軍中尉 香椎真城

本部業務分担中教育係將校ヲ命ス

一 稻嶺連絡所高元少尉以下士官以下九名(各中隊兵一名宛)ヲ

殘置任務ヲ附與シ明三十日各々所屬ニ復歸スベシ

一 明三十日經理室ニ於テ昭和十九年度未賞與支給スルニツキ受給

者ハ印鑑持参ノ上必ス于前中ニ受領ナレ度

尚受給者ハ昭和十九年十一月分俸給ヲ留弁宅ニテ受領ノ手續ナキ

將校及下士官トス

一 水崎隊ノ胸章ヲ左ノ如ク縫着スルモノトス

一 三 年未年始ニ當リ軍屬軍紀風紀取締ニ關シ上司ヨリ左記ノ如キ通

牒アリ

現時局ニ鑑ミ捨身歸神、比島特攻並ニ切込隊戰友ノ上ニ思ヒテ致シ

年未年始ハ恒例ノ儀式外平常同様服務シ特ニ飲酒並ニ言動ニ注

意シ正月氣分ニ流レ軍紀ヲ紊シ軍ノ威信ヲ失墜スルカ如キ事ナキ

様各級幹部ハ指道ヲ監督シ一兵ニ至ル迄徹底セシメラレ度

依テ各隊長ハ石趣旨ヲ克ク徹底セシメ事故ノ絶無ニ留意セラレ度

四 那霸ヨリセント受領使役兵トシテ各中隊ヨリ兵三名宛明三十日六時迄

本部ニ差出シ香椎中尉ニ指示ヲ受ケテシムルコト

服装ハ徒手帶劍卷脚絆トシ晝食携行トス

命日 報 十二月二十九日(六) 五城國民學校

四 江戸隊、明二十九日ヨリ當分ノ間左記ニ依リ爆破作業ヲ實施スルニ
ツキ一般ニ承知ノコト

左記

一場所 一五二高地ノ南側ニ於テ
二時刻 十時—十二時ノ間

(三ノ日會報)

昭和十九年十二月二十九日